

## ■稽古再開■

長らく自粛中でした神明会も、令和3年3月10日より、稽古を再開する事になりました。まだ職場などの規制により、参加出来ない会員様もいらっしゃる中、何とかまた活気のある会に出来る様、広報活動もがんばります！そして、新規の会員様も3名程、入会の運びとなり、現役世代で中なかお時間も取れないと思いますが、会員さんが増えるのは嬉しい限りです。



新たに入られた会員さんをご紹介します。左から杉山氏、勝山氏、小栗氏（4月入会予定）です。皆様どうぞ宜しくお願い致します。また会を盛り上げていく為にも、皆様の身近な方で、居合に興味がありそうな方がいらしたら、お声がけ頂ければ幸いです。

## ■第8回林崎甚助重信公法要奉納演武会■

令和3年4月18日に埼玉県川越市蓮馨寺境内にて、居合流祖 林崎甚助重信公の法要と奉納演武会が行われました。川越市の蓮馨寺境内に、流祖の終焉地として古い石碑があり、風雪で朽ちかけていた物を、新たに建立した事を契機に法要と奉納演武が毎年行われています。また、居合発祥の地として、山形県の林崎居合神社でも、奉納演武会は秋に行われ、神明会より会長が毎年出席しています。現代に残る林崎流居合にゆかりの有る各流派が集まります。

田宮流は林崎流から二代目にあたり、以降の流派の技を観れる良い機会だと思います。見学だけでも面白いと思います。第1回目より参加されていた関口流抜刀術の米原宗家は、快活でユーモアの有る挨拶を重鎮としてされていましたが、昨年98歳でご他界され、今回参加の皆様は米原宗家の追悼の意を持って演武致しました。田宮流からは、正麟館 妻木宗家、城所剣士、神明会からは、高橋元安副会長と私三宅が参加して来ました。当時は快晴でしたが、前日の大雨が舞台を濡らし、足袋、袴は濡れ、足捌きも気を付けて行わないと、引っかけりましたが、どんな状況でも平常心を鍛える事が古武道！と主催者の長谷川英信流森代表が仰っていました。コロナ禍で我々も、嚴重に感染対策と言う話は聞いていましたので、マスクを付け登壇しましたら、古武道は、平常心！と森代表が仰り、マスクは外しての演武になりました。流派名に恥じない演武が出来る様普段の稽古と心構えは大事だと思いました。

私の見解ですが、長谷川英信流と無外流居合の止めの切り下ろしは、溜による強力な斬撃を重視している気がしました。田宮流や関口流の真向には無い特徴だと思いました。太刀行きの速さ主体か威力主体の違いなのでしょう。



川越 蓮馨寺は蓮が香ると書くが現在池は見当たらないです。

居合流祖林崎公現在の石碑。